

■伴信友 国学者。精緻周到な学風で、同門平田篤胤と対照的だった。

ばんのぶとも

大原騒動・・1773＝ 若狭国遠敷郡伏原村の場で、小浜藩士山岸惟智の四男に生まれる。母は同藩士片岡良雄次女のサヨ。

天明大飢饉始1782＝ 9歳：

藩校{順造館}に通ううち、才能が評判となり、学問に専念させようとした父によって、

田沼意次失脚1786＝13歳：江戸の小浜藩邸に勤める藩士伴信当の養子に出されることになり、
寛政改革始・1787＝14歳：江戸に出、小浜藩邸に勤める兄に連れられ、伴信当の家に入り、伴信友と改名し、
・・・・・1788＝15歳：大広間面番役となって、藩主酒井忠貫に仕える。

混浴禁止・・1791＝18歳：

松平定信引退1793＝20歳：
ワヅタ 正月・1794＝21歳：信当の娘美尾と結婚。_この頃から荷田在満・賀茂真淵・本居宣長らの著書により国学を学んでいたが、

御次頭役となり、藩主のお供をして、江戸と小浜を往復するうち、

古事記伝・・1798＝25歳：_本居宣長が「古事記伝」を出すと、いよいよ入門したくなり、

伊能測量始・1800＝27歳：
本居宣長没・1801＝28歳：_村田春門に紹介してもらっても、直前に宣長が死去したため、没後門人として本居大平の指導を受ける。

_それとともに植松有信・上田百樹・内山真龍・足代弘訓・夏目囊磨・平田篤胤・藤井高尚・屋代弘賢らと
交わり学問を深める。

いづろ報復・1806＝33歳：「応声考」。養父信当が没し、家督を相続する。

間宮海峡発見1809＝36歳：京都所司代となった藩主酒井忠進に従い、御側御記録係として、_上洛すると、

_東寺の所蔵する「百合文書」の調査を始め、

浮世床・・・1813＝40歳：「神名帳考証」、
黒住教・・・1814＝41歳：この頃、「長等の山風」成る。
・・・・・1815＝42歳：老中に代わった藩主酒井忠進に従い、江戸に戻る。
伊能測量終・1816＝43歳：御文庫御預を任せられ、

_暇を見つけては、研究を続けていたが、

水野忠成老中1818＝45歳：
群書類従完結1819＝46歳：「仏神論」。

蝦夷地直轄終1821＝48歳：「残桜記」「潮見小河」。病のため家督を長男に譲って、*致仕し隠居すると、堰を切ったように執筆し始め、

英船浦賀来航1822＝49歳：「方術原論」
ｼｰﾎﾞﾙ来日・1823＝50歳：「中臣祓祠要解」。

_江戸では、小山田与清・平田篤胤とともに三大家と称され、とくに平田篤胤とは親交を結んだが、

異国船打払令1825＝52歳：「若狭旧事考」。
・・・・・1826＝53歳：本居宣長についての「鈴屋翁略年譜」
日本外史・・1827＝54歳：「動植名彙」成る。
ｼｰﾎﾞﾙ事件・1828＝55歳：「竹栄秘抄」。
ｼｰﾎﾞﾙ追放・1829＝56歳：*自らの学説を篤胤が自分のもののように発表したことから、不仲となり結局絶縁状態となる。
富籤流行・・1830＝57歳：「松の藤扉」。

高島砲術・・1834＝61歳：「周易私論」。
滑稽+人情本 1835＝62歳：「験の杉」。編「中古雑唱集」成る。
・・・・・1836＝63歳：「上野国三碑考」。

大塩平八郎乱1837＝64歳：
適塾オープン・1838＝65歳：「中外経緯伝草稿」。

天保改革始・1841＝68歳：「神社私考」、
天保改革弾圧1842＝69歳：「高橋氏文考注」。
順天堂始・・1843＝70歳：「倭姫命世紀考」。京都所司代となった藩主酒井忠義に息子が随うため、家族とともに上洛したが、
天保改革終・1844＝71歳：「正卜考」、
阿部正弘首座1845＝72歳：「鎮魂伝」。
ﾋﾞｯﾄﾙ来航・1846＝73歳：「神璽三弁」。京都所司代官舎で、_没した。

「人づくり風土記(福井)」,「没年日本史人物事典」, 平凡社百科事典,